

1 基本情報

大項目	たくましい都市活づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	農業
施策の方針	農産物の供給・緑豊かな景観の提供・交流の場の創出・地域文化の継承など、多面的な役割を果たす農業を地域の産業として健全に守り育てるため、農地の保全や農業基盤の整備を図るとともに、農業経営の安定化・強化への支援を行います。また、担い手の育成、生産団体の支援などにより、魅力ある将来性の高い農業への道筋を作っていきます。さらに、安心・安全な農作物の提供、地産地消の推進とともに、農業体験や市民農園を通じた市民交流を促進します。

2 現況と課題（平成29年度末の状況）

- 後継者や新規就農者の確保には、農業経営での安定した収入の確保が必要です。
 - 市民が農業に親しむ機会を増やすとともに、農業経営の多角化策として体験農園の拡大が期待されています。
 - 農業者の高齢化や減少により遊休農地が生じており、その有効活用のため、担い手の確保が必要となっています。また、農業振興地域の農用地区域で、住宅地と農地が混在する等、農地の荒廃・遊休化・転用が進んでおり、農地の保全と、農地としての有効利用のための効率化・高度化が必要となっています。
 - 多くの市民が地元の農産物を知り、消費する地産地消を拡大する必要があります。
 - 農業生産には農道、用排水路等のハード面に対する支援も必要です。
- <法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	69,744	58,755	73,337		
人件費(予算)	123,870	112,309	115,612		
合計	193,614	171,064	188,949	0	0
対前年比	—	88%	110%		

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	C	経営改善計画が認定された農業者の割合			3.3	3.3	3.1	—	—	—	農業経営基盤強化促進法に基づき、農業経営改善計画(5年間)を市町村が認定した農業経営者または農業生産法人のことを「認定農業者」という。認定農業者は、国庫補助や融資などの各種支援の対象となるため、認定者数の増加に向けて、普及啓発を図る必要がある。平成29年度は、計画期間が終了した生産者が、計画の更新を行わなかったことにより、割合が減少した。今後はPRを図りながら認定農業者の増員に努めていく。
農政課	農業者のうち、地域農業再生協議会で経営改善計画が認定された農業者の割合(累計)	↗ %	—	3.3	3.3	3.3	—	—	—		
2	C	体験農園の開設数			3	3	3	—	—	—	上尾市産業振興ビジョンの「スタートアップ事業」として位置づけ、現在までに3園を開設したが、平成29年度には希望者がいなかった。農地活用と新たな農業経営に関する手法の一つとしてとても重要であることから、農業者へのPRを行いながら開設数の増加に努めていく。
農政課	開設された体験農園の数(累計)	↗ 園	—	4	4	4	—	—	—		
3	A	利用権が設定された農地の面積			55	46	61	—	—	—	農地を貸したい地権者と農地を借りて作付面積を増やしたい耕作者の意見を市がとりまとめ、期間を定めて耕作者の農地集積を促進するものである。平成29年度は、利用権設定期間の再設定及び平方外地区における中間管理事業(農地中間管理機構という公的機関を通して、一括借り上げと貸付を行うもの)の実施により、面積が増加した。今後も、農地の活用及び農地集積を促進していく。 ※平成28年度は大規模耕作者の作付計画の変更(主要作物の転換)により集積面積は低調となったものである。
農政課	利用権設定促進事業に基づき利用権が設定された農地の面積(累計)	↗ ha	—	46	54	63	—	—	—		
4	B	あげお朝市の年間売上額			314	332	335	—	—	—	毎月第4土曜日上尾駅自由通路において「あげお朝市」を実施しており、イベントとして定着しつつあることから、売り上げが増加傾向にある。今後も引き続き、上尾の農業や農産物のPRを行う機会の一つとして実施していく。
農政課	「あげお朝市」の年間の売上額(単年度)	↗ 万円	—	330	340	340	—	—	—		
5	A	自己保全管理を含めた耕作放棄地解消面積			1.8	13.0	22.8	—	—	—	平成29年度から利用状況調査にタブレット端末を導入したことにより、一筆ごとの厳密な調査を行えるようになった。これまで耕作放棄地であるとみていたものが、実は耕作放棄地ではなかったというところが多く、事実の錯誤による解消面積の増大となった。したがって本年度の目標値は、2.0 haの解消が現実的である。 ※平成28年度については利用状況調査のやり方を見直した(タブレット端末は導入していない)ことによる事実の錯誤による解消である。
(農政課)農業委員会事務局	自己保全管理を含めて耕作放棄が解消された農地の面積(単年度)	↗ ha	—	2.0	2.0	2.0	—	—	—		
6	C	多面的機能支援事業の対象となっている農地の保全面積			75.3	75.0	74.8	—	—	—	農産物の供給・緑豊かな景観の提供・交流の場の創出・地域文化の継承など、多面的な役割を果たす農業を地域の産業として健全に守り育てる取り組みを市内5つの地域で行っている。(計画年度H26~H30年度) 平成29年度は、面積の錯誤による減少があったが、引き続き、地域内での環境保全事業を支援するとともに、隣接または他地域での取り組みについて検討していく。 ※平成30年度目標値は面積錯誤により下方修正。
農政課	多面的機能支援事業の補助対象となった農地の面積(単年度)	↗ ha	—	75.3	75.3	75.1	—	—	—		
7							—	—	—		
8							—	—	—		
9							—	—	—		
10							—	—	—		
11							—	—	—		
12							—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	33%	2/6
未達成	B 前年度より改善しているもの	17%	1/6
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	3/6

1 基本情報

大項目	たくましい都市活力づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	商業
施策の方針	魅力と一体感をもった取組を行うことにより、中心市街地のにぎわいの創出を図ります。 また、地域の商店街や商店が積極的に魅力の向上に努め、地域コミュニティとの連携を支援します。 さらに、大型店などが地域の一員としての自覚を持ち、地域貢献を行うほか、地域の商店街や商店と連携して、共存共栄に向けた取組を支援します。

2 現況と課題（平成29年度末の状況）

- 市内商業の多くを占める中小小売店は、その数や売上額が年々減少しており、経営の安定化が必要です。
- 新たな商業の魅力をつくる一環として、同業種・異業種間の交流・連携や新たな顧客の獲得によるにぎわいづくり、起業に対する支援が必要です。
- 商店街の活性化を図るためには、地域大型店との連携や商店街が行う環境整備、各種イベントに対する支援が必要です。
- 中心市街地でも空き店舗が増えており、長年の開催で定着したイベントを、にぎわいの創出だけでなく、交流等により魅力ある店舗づくりにつなげていく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	50,828	52,393	46,342		
人件費(予算)	9,414	41,041	33,112		
合計	60,242	93,434	79,454	0	0
対前年比	—	155%	85%		

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名			各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
					各年度目標値						
					—	H28	H29	H30	H31	H32	
1	C	中小企業サポート件数(商業分野)			2	0	0	—	—	—	企業の求めに応じ、課題解決に向けたサポートを行う。現在、創業相談をはじめ、窓口での対応で済む事例が多く、コーディネーターの派遣まで進む例は少ない現状ではあるが、今後も更なる制度の周知に努めていく。
	商工課	商業分野で中小企業サポート制度を利用した件数(単年度)	件	↗	—	2	2	2	—	—	
2	B	農商工観ポータルサイトの訪問者数			166,395	170,206	267,814	—	—	—	日本薬科大学によるリレーコラムの掲載、話題性のあるイベントや市内撮影情報の積極的な発信により、年間を通してアクセス数が増加したほか、ユーザー数も増加傾向にある。今後、市内ものづくり企業データベースの更なるPR、「市内周遊スポット」動画の公開などにより新規ユーザーの獲得及びアクセス数の増加を図っていく。
	商工課	農商工観ポータルサイトにアクセスした件数(単年度)	件	↗	—	252,000	288,000	288,000	—	—	
3	C	商店街環境整備事業・商店街活力再生事業の補助件数			12	11	10	—	—	—	商店会が実施する街路灯整備等及び販売促進事業等に対する補助。商店数が減少する中で商店街の維持、活性化のため継続する必要がある。
	商工課	上記の事業による補助を受けた件数(単年度)	件	→	—	11	11	11	—	—	
4	A	「まちフェス」の参加店舗数・来場者数			10	9	9	—	—	—	上尾駅を中心とした東西のショッピングエリアをメインに、音楽をテーマにしたイベントを開催し、賑わいの創出を図ることを目的としている。複数個所でのイベント実施、「まちバル」「出張商店街」との同時開催で来客の回遊性を高めている。今後の方向性・実施内容については、実施主体である上尾商工会議所と協力しながら魅力あるイベントに育てていく。
	商工課	「まちフェス」に参加した店舗の数(単年度)	件	↗	—	9	9	9	—	—	
5	A	「まちフェス」の参加店舗数・来場者数			15,000	15,000	15,000	—	—	—	上尾駅を中心とした東西のショッピングエリアをメインに、音楽をテーマにしたイベントを開催し、賑わいの創出を図ることを目的としている。複数個所でのイベント実施、「まちバル」「出張商店街」との同時開催で来客の回遊性を高めている。今後の方向性・実施内容については、実施主体である上尾商工会議所と協力しながら魅力あるイベントに育てていく。
	商工課	「まちフェス」に来場した人の数(単年度)	人	↗	—	15,000	15,000	15,000	—	—	
6					—			—	—	—	
7					—			—	—	—	
8					—			—	—	—	
9					—			—	—	—	
10					—			—	—	—	
11					—			—	—	—	
12					—			—	—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	40%	2/5
未達成	B 前年度より改善しているもの	20%	1/5
未達成	C 前年度より改善していないもの	40%	2/5

1 基本情報

大項目	たくましい都市活力づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	工業
施策の方針	地域で伝えられてきたものづくりの技術を磨き上げ、市内の中小企業が高い競争力・収益力を持つことができるよう支援します。また、これまで培われてきたネットワークをもとにした同業種・異業種間交流、産学官連携などによる、共同研究や共同受注などの自主的な取組や、技術開発・販路開拓、人材育成に対する支援を行います。

2 現況と課題（平成29年度末の状況）

●本市の工業の多くは二次・三次加工の中小企業が多く、経済変動等の影響を受けやすいため、経営の安定化が重要です。

●個々の企業の経営基盤を安定させるには、市内外の同業種・異業種間での交流・連携による技術や製品の開発・PR等が必要です。

●「中小企業サポート事業」における企業訪問については、平成29年度から実施の『企業連携コーディネート業務』に統合している。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	37,008	48,188	28,655		
人件費(予算)	18,911	21,883	20,231		
合計	55,919	70,071	48,886	0	0
対前年比	—	125%	70%		

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名			各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
					各年度目標値						
1	C	中小企業サポート件数(工業分野)		件	13	5	5	—	—	—	企業の求めに応じ、課題解決に向けたサポートを行っている。平成29年度から「企業連携コーディネート業務」に統合し、5件の訪問実績であった。今後も訪問件数を増やし、市内企業の経営相談や取引先の紹介等の対応を行い、経営改善や販路開拓に貢献していく。
商工課	工業分野で市内企業を訪問し、経営や取引先等の相談・斡旋を行った件数(単年度)	↑	—	13	13	13	—	—	—		
2	A	あげお工業フェアへの出展件数		件	32	32	33	—	—	—	商工会議所で発行している情報誌「あびお」に出展企業募集の記事を掲載した。今後も工業フェアの更なる内容の充実を目指し、広く出展企業の募集に努めていく。
商工課	「あげお工業フェア」に出展した企業・団体の件数	↑	—	32	33	34	—	—	—		
3								—	—	—	
4								—	—	—	
5								—	—	—	
6								—	—	—	
7								—	—	—	
8								—	—	—	
9								—	—	—	
10								—	—	—	
11								—	—	—	
12								—	—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	1/2
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	1/2

1 基本情報

大項目	たくましい都市活力づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	観光
施策の方針	歴史や自然など、本市独自の地域資源を活かすことにより交流人口を増やし、地域ににぎわいが生まれるような取組を進めます。また、食やイベント、土産などにおいて、本市ならではのものが創られ、産業の振興や上尾のブランド力の向上につながるよう取り組んでいきます。

2 現況と課題（平成29年度末の状況）

- 観光情報を集約化し、ニーズに応じたさまざまな媒体や形態で、市内外に本市の魅力を発信していくことが求められています。
- 上野東京ラインの開通を機に始まった県央地域(上尾市、鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町)等、広域での観光プロモーションを継続していく必要があります。
- 観光客の誘致に向け、特産品の開発や映画等の撮影場所のPRによる知名度の向上、あげお花火大会等のイベントの充実が必要となっています。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	40,909	43,081	44,044		
人件費(予算)	39,969	6,771	6,771		
合計	80,878	49,852	50,815	0	0
対前年比	—	62%	102%		

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名			各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
					各年度目標値							
1	A	観光協会ホームページ・農商工観ポータルサイトのアクセス数及び観光協会のツイッターのフォロー件数	300,000	343,403	402,966	—	—	—	—	—	—	日本薬科大学によるリレーコラムの掲載、話題性のあるイベントや市内撮影情報の積極的な発信により、年間を通して農商工観ポータルサイトのアクセス数が増加した。30年度より、各イベントに対する協賛者速報を観光協会HPに掲載するなどし、更新回数を増やしている。また、今後、花火大会ライブ配信のリンクを観光協会HPに掲載予定。大型イベントのウェブコンテンツを充実させることで、訪問者数増加を狙う。
		商工課 観光協会HP・あげポタへのアクセス件数+観光協会ツイッターのフォロー件数(単年度)	件	—	330,000	350,000	440,000	—	—	—	—	
2	A	広域観光キャンペーン及びイベント数	7	3	5	—	—	—	—	—	—	中山道駅からハイキングを実施。4市1町が連携して行うもので、広域の観光イベントを新たに実施した点は成果である。30年度も継続して行うが、沿道のサービスポイントの充実等、関係自治体が協力してイベントをより有意なものとする必要がある。※平成27年度は高崎線上野東京ラインの開通などでイベントが一時的に増えたためであり、平成28年度の目標値を基準とした。
		商工課 広域観光キャンペーン及びイベントの開催数(単年度)	回	—	3	4	5	—	—	—	—	
3	A	観光協会推奨土産品認定件数	42	42	44	—	—	—	—	—	—	優良な土産品を推奨することにより、当該土産品の普及ならびに品質の向上を図り、もって市内における産業の振興に寄与することを目的として実施している。29年度より、認定制度の改善をなすべく、検討会を進めていた。30年度は新たに、一般市民の視点を取りこんだ推奨品の認定制度を導入し、本事業の認知拡大を狙う。
		商工課 観光協会が推奨土産品として認定した土産品の件数(累計)	件	—	42	44	45	—	—	—	—	
4	C	映画等の撮影受付及び撮影実施数	88	56	54	—	—	—	—	—	—	市内の撮影場所のPR、エキストラ募集等、映画やテレビドラマ等のロケーションの誘致は支援を行う。過去の実績値を考慮し目標値を修正。問合せのあった制作会社から情報収集を行う等、相談件数を上げる努力を行っていく。
		商工課 映画等の撮影受付件数+撮影が行われた件数(単年度)	件	—	88	88	88	—	—	—	—	
5	C	上尾夏まつり、あげお花火大会、あげお産業祭の来場者数	335,000	342,000	342,000	—	—	—	—	—	—	花火大会、産業祭について、来場者の利便性向上のため、会場及びその周辺においてハード面の整備を行っている。今後も実行委員、協力団体、来場者等の意見を参考にしつつ運営の改善を行っていく。夏まつりについては、事務局からの相談があれば適宜、運営のアドバイスを行っており、今後も継続していく。
		商工課 「夏まつり」「花火大会」「産業祭」の来場者数(単年度)	人	—	342,000	350,000	350,000	—	—	—	—	
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	60%	3/5
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	40%	2/5

1 基本情報

大項目	たくましい都市活力づくり
中項目	労働環境の充実
小項目	勤労者・就労支援
施策の方針	市内の勤労者が安心して働けるよう、勤労者福祉の向上を進めるとともに、希望する市民が就労できるよう、国や県、近隣市町と連携して支援を行います。

2 現況と課題（平成29年度末の状況）

- 市内の事業所の94%を占める従業員30人未満の小規模な事業所は、勤労者の福利厚生対策等が十分とは言えないことから、勤労者の就労や生活の安定のため、勤労者福祉の一層の推進が必要です。
- 変化する経済環境の中にあつて、希望しても就労できない市民もいます。就労を希望する市民に対し支援していく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	253,176	253,446	254,438		
人件費(予算)	3,551	3,799	3,303		
合計	256,727	257,245	257,741	0	0
対前年比	—	100%	100%		

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名			各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
		課名	指標の説明(計算式)	方向性 単位	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
					各年度目標値						
1	C	上尾市勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数			709	686	666	—	—	—	中小企業の勤労者の福祉の向上を図るとともに、地域の企業の振興及び地域社会の発展を目的とした法人である。会員数事業所数ともに減少しており、今後も会員事業所の確保に継続して努める。
		商工課	勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数(単年度)	件	—	710	710	710	—	—	
2	C	就職面接会参加者の就職者数			4	7	5	—	—	—	平成29年度は、前年度と比べ学生の売り手市場化が進んだため目標値を下回ったと推察できるが、急な雇用情勢の変化にも対応できるよう、今後も公共職業安定所の協力のもと、2市1町等で構成する雇用対策協議会主催の就職面接会を継続して実施する。
		商工課	雇用対策協議会主催の就職面接会の参加者で、実際に就職した人の数(単年度)	人	—	7	7	7	—	—	
3								—	—	—	
					—				—	—	
4								—	—	—	
					—				—	—	
5								—	—	—	
					—				—	—	
6								—	—	—	
					—				—	—	
7								—	—	—	
					—				—	—	
8								—	—	—	
					—				—	—	
9								—	—	—	
					—				—	—	
10								—	—	—	
					—				—	—	
11								—	—	—	
					—				—	—	
12								—	—	—	
					—				—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	0%	0
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	100%	2/2